2018

気仙沼市などの



社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会

《公式ウェブサイト》 気 仙 沼 市 社 協 http://kesennuma-shakyo.jp/ ボランティアセンター http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesennuma

唐桑支所◆気仙沼市唐桑町石浜282番地3〈唐桑保健福祉センター「燦さん館」内〉 TEL 0226-31-2051/FAX 0226-31-2052 E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp 所◆気仙沼市東新城二丁目1番地2 TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467 E-mail∶keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所◆気仙沼市本吉町津谷舘岡51番地6 TEL 0226-42-2231/FAX 0226-42-1241 E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp





平貝自治会では先月4日、自治会館新築にあたり上棟祝いの餅まき が行われました。

餅がまかれるたびに、子どもたちの元気な声が響きわたり、大人も 子どもも笑顔でとてもにぎやかな一日となりました。



おめでとうございます

の方々に、 の推進に功績のあった次 永年にわたり地域福祉 表彰状並びに

感謝状が贈られました。

第 64 回宮城県社会福祉大会

馬場

康彦

様

熊谷

秀人

様

民間社会福祉団体等役職員功労者

小野寺あつ子

望

様

平成30年11月7日

宮城県知事表彰 褒状

大和田

富美枝

民生委員児童委員 社会福祉事業篤志奉仕者

社会福祉事業従事者

於仙台市

村上 読み聞かせボランティア ボランティア功労団体 紀幸

【宮城県共同募金会会長表彰 わしの会 梶原 瀧川 敏恵 忍 様

剛

彦

様

社会福祉施設職員功労者 繁晴 富恵 様 様 渡邊健 郎

渡邊

三浦

小野寺徳顕

和 枝 様 様 様

瓦仙沼市社会福祉協議会

「ヘルプカード」をご存知ですか

~ 市民の皆様へのお願い ~

宮城県民生委員児童委員協議会

ヘルプカードは、障がいのある方や高齢者、持病のある方や妊 婦さんなどの様々な方が携帯し、困った時や緊急時に必要な手助 けや配慮を周囲の人に伝えるためのカードです。



荒生 阿部

礼子

山内

久美

社会福祉協議会・民間社会福祉団体

平成30年11月22日

於東京都

山

様 様

様 様 様

功労

菊田美紀子 小山さち子

市郎

様

橋本

勝彌

様

吉田みさ子

様

平成30年度全国社会福祉大会

民生委員児童委員功労者

表彰状】

水年勤続民生委員・児童委員

和枝

様

会長表彰 表彰状

、宮城県社会福祉協議会会長表彰

長夫 様

様

鈴木

賢司

様

大内 康弘

様

牵仕功労者

表彰状]

社会福祉協議会役職員功労者

伸也

様

藤村千賀子

ヘルプカードの中には、その方の緊急連絡先や手助けしてほしいこ とが書いてあります。地域の中で、困った様子の方を見かけたら「ヘルプカードを持って いませんか?」と声を掛けてみてください。

ヘルプカードを持っている方の中には

- ◆困っていても助けを求めることが出来なかったり、どうしたらいいかわからなくなっている場合があります。
- ◆突然発作が起きたり、動けなくなったりなど、見た目には分からない持病や障がいがある方もいます。
- ◆大人だけではなく、お子さんが持っていることもあります。











「どうしましたか?」「大丈夫ですか?」など、ゆっくりおだやかに話し掛けてくだ まずは、前から さい。中には、強い口調やたくさんの人から声を掛けられると、緊張したり、パニックになったりと逆 効果になることがあります。コミュニケーションが上手に取れない場合は、カードに書いてある緊急連 絡先に連絡してください。

※もしも、声を掛けた方がヘルプカードを持っていなかったら…

⇒助けてしてほしいことを聞き取りながら、手助けをしてください。

誰もが安心して暮らしていける地域を目指し、皆様のご協力をお願いします。 🛦



自分らしく安心して暮らせるまちづくり

地域懇談会

本会では、気仙沼市と協働、連携し、 第3期地域福祉計画 · 地域福祉活動計画 を作成するにあたり、計画に住民の皆様 の意見を反映させるため8月6日~17日 に地域懇談会を開催しました。



懇談会では、計画の概要説明の後、小グループに分かれて普段感じていることや、地域の暮ら しの課題、計画に反映させてほしいことなどをテーマに意見交換を行ないました。懇談の中では、 地域活動を進める上での後継者(担い手)不足や交通手段などの生活課題などへの意見が多く挙 げられていたほか、サロンや世代間交流など、自分たちが取り組んでいる活動も紹介されました。

+*+*+*+*+*+*+*+*+*+*+*・・こんな意見が出されました +*+*+*+*+*+*+*+

- ●子どもたちを大事にしたい。
- 高齢者、障がい者、子どもへの理解。地域の福祉力の底上げの必要性。
- 高齢者の増加。買い物やゴミだし等の生活課題をどうしていくのか。会報や回覧板を回すの も大変である。
- あいさつや地域交流があれば自然の支え合いになる。
- 地域でお茶のみ会を開催し、交流の場になっている。
- 働き世代を自治会活動にうまく取り込めない。
- ●催しに参加する際、会場まで移動できず参加できない人がいる。
- ●行政、社協、地域の役割をきちんと明らかにしていく計画にして欲しい。

(お詫びと訂正)

10月1日発刊の広報誌「社 協だより」10月号の記事『赤

い羽根募金箱をつくろうコンクール』入賞作品の紹 介において、作品写真に誤りがございました。

正しくは以下のとおりです。

宮城県共同募金会賞



唐桑小学校6年

気仙沼市教育委員会賞



唐桑小学校5年 競 木 紗 彩 さん ・ 小 林 さくら さん

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上 げます。

生活福祉資金 貸付制度のご案内

本会では、低所得世帯、障がい者世帯及 び高齢者世帯に対し、様々な利用目的に応 じた資金の貸付相談を行っています。

申込みにあたっては、一定の要件があり ますが、大学や専門学校、高等学校等への 入学や就学に必要な経費の貸付等も取り 扱っておりますので、詳細についてはお気 軽に本会までご相談ください。

お申込み・お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会(市内東新城2-1-2) 貸付相談専用電話 080-5949-7563 (祝日を除く月~金曜日〈午前9時~午後5時〉)



はじめよう! 広げよう! 支え合いの地域づくり 地域のお宝」紹介しま~す

本会では、生活支援体制整備事業を気仙沼市より受託し、地域支え合い推進員を配置して、みんなでつくる支え合いの地域づくり、そして地域が元気になる取組みを推進しています。

推進員が各地域に伺う中で、住民同志の支え合いをたくさん見つけました。 これこそ**「地域のお宝」**。みなさんの身近にも、お宝はいっぱいあるはず。

今号も地域支え合い推進員が見つけた「地域のお宝」を紹介 しま~す。

「地域のお宝」とは

特別に意識せずに行われていることが、見守りや情報 交換、つながりづくりの場になっています。

これをこの事業では「地域のお宝」と呼んでいます。



表松川自治会・内松川自治会の「松川子供育成会」の結成は昭和45年頃とのことです。2つの自治会は山の仕事や農作業を共同で行うことが多くあり、地域で子供を育てる習慣が常にあったそうです。30年前は



地区内の子供数100名、現在は約20名です。「松川子供育成会」での行事(夏祭り、クリスマス会、 歓送迎会等)の内容は育成会の保護者全員で決めます。団結の秘訣は飲み二ケーションと保護者 が楽しむことだそうです。育成会へは震災後、仮設住宅に住む方の加入、他地区に引っ越してか らも子供同士の繋がりで継続して加入している世帯もあります。

写真は育成会と両自治会協賛の夏祭りの写真です。この夏祭りでは松川子供育成会の子ども達も参加している「秋葉太鼓」の演奏が披露されます。「秋葉太鼓」は、表松川地区にある里宮神社の宮司さんが30年ほど前に始め、メンバーの口コミで地元住民の他、他地区からも加入があるそうです。

行事に伺い様々な方からのお話から文化の伝承は担い手づくりの効果があり、子供の頃に積み 重ねた経験、地域の大人たちとの関わりから社会や地域を学び地元への愛着に繋がっていると感 じました。

☆ここがイチ押し!

少子化にて地区内だけで行事を行うことが難しくなっている中、口コミで広がる地区の範囲を超えた新な形のコミュニティづくりではないでしょうか。



階上地区

森前いきいきサロン

森前いきいきサロンは、毎週月曜日の午後1時30分から、森前林地区の住民を対象に活動をしています。活動は自治会館を拠点に行なわれていますが、地区内に畑を借りてさつまいもやジャガイモなどの野菜作りもしています。

この日は、さつまいもの収穫を行ないました。 今年は大豊作で、参加者は大きなさつまいもを



手に笑顔で実りの秋を満喫していました。収穫した作物は、サロンのメンバーで分け合ったほか、参加できなかった方や一人暮らしの高齢の方にもお届けしました。また、今後の活動の中で料理もして楽しむそうです。収穫の後は自治会館へ集まって体操とお茶のみを行い、パワフルにサロンの時間を楽しまれていました。

この他にも、サロンの中で小物を作って公民館まつりで展示したり、メンバー揃ってぶどう狩りに行ったりと多様な活動を楽しまれているとのことです。

代表の大和田とく子さんは、「活動の内容はメンバーで話し合って決め、お互いに楽しんで活動をしています。」と話されていました。



☆ここがイチ押し!

活動に農作業を取り入れていることで、男性も積極的に参加・協力をしています。

面瀬地区

面瀬川 ふれあい農園

面瀬川ふれあい農園では、休耕田を利用して子どもの遊び場と地域交流の場作りを行なっています。活動は毎月第1・3月曜日にお茶会を開いている他、バザー



や凧揚げ、水遊び等のイベントを開催しています。結婚式を挙げたこともあるとのことです。

この日はパークゴルフ大会が開催され、大人も子どもも一緒にチームを作り、ルールやコツを教え合いながら和気あいあいと身体を動かしていました。昼食には運営委員の皆さんが作ったさんまの塩焼きやすいとんでお腹も心も満たし、午後からはまた、参加者それぞれが腕を競い合いました。

代表の佐藤正儀さんは、「震災後、子どもの遊び場が減ったことから、子どもが自由に遊べる場所を作りました。子どもだけではなく、大人も交流の場として利用していますので、川遊びなど、大人がついていないとできない遊びも体験できます。」と話されていました。



☆ここがイチ押し!

- 子どもだけではなく、大人も自由に利用できますので、自然と見守りと世代間交流ができています。



大島地区

大初平いきいきクラブ

大初平いきいきクラブは、平成25年11月より毎週火曜日午後3時から午後4時まで、大初平自治会館にて体操を行っています。参加者は約10名。

ステップ体操で体を温めてから、宮婦連で教わった口コモ体操や気仙沼音頭等を踊ったり、



色々な音楽に合わせ、炭坑節の振り付けで体を動かしています。体を動かした後は和気あいあいとおしゃべりをしたり、地区内で気になる方の様子を共有したりと地区の見守りにも繋がる活動になっています。活動の継続の理由としては、お茶もお菓子も持ち寄らず時間になると解散になるので、気遣いすることなく気軽に参加できるのではないかと参加者の声。

また、14年以上にわたり花壇整備に努められ、今年は緑化推進功労者の表彰を受けたので、日頃の活動のご褒美としてお食事会を予定しているとのことです。

大初平自治会では、年に1回、地区の子どもから高齢者まで多くの住民が参加する運動会、敬 老会を兼ねたイベント「ミニデイサービス」を実施しています。



☆ここがイチ押し!

23世帯という、少人数の地区ですが、大島では唯一婦人防火クラブがあります。

唐桑地区

中井老人クラブ 明寿会

中井老人クラブ明寿会は、昭和38年に設立され今年で55年目を迎える老人クラブです。唐桑地区内には、以前13か所



の老人クラブがありましたが、現在は中井老人クラブ明寿会だけになりました。当初は地区内の一人暮らし、寝たきりの高齢者宅を激励、訪問活動を実施し、社会奉仕活動もされておりました。現在の会員数は25名で、設立当初に比べると会員数は減りましたが、「会をやめることは簡単だけれど、あまり気を負わず、無理せず、楽しく続けて行きたい」という千葉会長からのお話しでした。この日は、年2回開催している温泉旅行に13名の参加で行ってきました。毎年秋のこの時期に行われる旅行は、会員さんがとても楽しみにされている行事でリフレッシュされたようです。先日は、自治会である中井公友会を招待し「かぼちゃ粥を食べる会」を開催しました。毎年たくさんの住民さんが参加される、地域住民のつどいの場になります。

また、中井公友会と老人クラブが協力し30年以上にわたって花壇整備も続けられ、今年県の緑化功労者表彰を受けられました。中井老人クラブ明寿会は「地域の宝」であり、これからも長く受け継がれてほしい団体です。



☆ここがイチ押し!

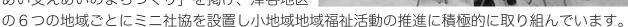
会長の千葉ミエ子さんの声掛けと人柄に引かれ、最近会員が2名増えました。中井公 友会と協力し会員さんは長く、楽しく、そして元気に活動されています!



津谷地区

津谷地区 社会福祉協議会

津谷地区社協のめざす地域の姿として、「ふれ あい支えあいのまちづくり」を掲げ、津谷地区



平成29年6月には、振興会、社協、福祉関係団体や機関、民生委員児童委員等が協働して地域福祉を推進するために『津谷地区地域福祉推進協議会』を設置し、定例会議や先進地視察などの先駆的な取り組みを行っています。こうした動きは、生活支援体制整備事業の協議体の役割を果たすものです。

また、昨年度には6地域ごとでの2年間にわたる懇談会を経て、各地域の「地域福祉活動計画」 を策定するとともに、6地域の計画を統合して「津谷地区地域福祉活動計画」を策定しました。

この地域福祉活動計画に基づき、各地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、各地域で「地域福祉推進会議」の開催が始まっているなか、山田地域ミニ社協では、移動手段の地域課題解決に向け、具体的な支援サービスを検討するための検討委員会が組織され、検討を重ねています。

津谷地区社協では地域福祉推進会議や地域懇談会などへの支援を行いながら、小地域活動の推進に取り組んでいます。



☆ここがイチ押し!

小地域ごとの課題解決に向けた体制が整備され、地域ごとの活動計画に基づき、地域にあった取り組みが進められ、それを支援する地区社協の存在はとても大きなものになっています。

大谷地区

前浜地域交流サロン

前浜地域振興会が主体となり、毎月第2、4水曜日午前10時から正午まで地域の集会所(前浜マリンセンター)を会場に地域住民を対象とした交流サロンを開催しています。



前浜地域では普段から色々な地域行事が開催されており、みんな顔なじみの方々であることからサロンにも毎回20~30名程度と多くの方が参加されているとのこと。

地域のみんなで集まってお茶のみをしながら、おしゃべりや笑い合いながら楽しく過ごすことはもちろん、内容も多彩で、室内で行う際は、ペタンクや輪投げ、及川会長さんが独自で作成されたスカットボールなどのゲーム、屋外ではグランドゴルフや体操、その他研修を兼ねての外出など参加された方々で話し合いながら、趣向をこらして毎回開催されております。及川会長さんは「今後も様々なことに取り組んでいき、みんなで声を掛け合いながら継続して開催していきたいです。」と話されていました。



☆ここがイチ押し!

このサロンは、振興会(自治会)が主催していることから地域の方々が多く参加されており、地域の親睦を深めることや見守り活動にも繋がっています。



気仙沼市共同募金委員会から市民のみなさんへ



みんなでささえあうあったかい地域づ

12月1日~12月31日

今年の目標額は 4,500,000円

気仙沼市共同募金委員会では、上記金額を今年度の歳末たすけあい募金目標額とし、運動を 展開して参ります。ご寄付はあくまで善意によるものですが、1世帯あたりの目安額を300円 とさせていただきました。無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。 平成30年12月



安心して暮らせる 地域づくりのために

地域の皆さまや関係機関・団体の協力のも と、「子どもの安心安全の支援」や「生活困 窮者等への相談支援」、「見守り訪問活動」等 の福祉活動を行っている地区社協など、新し い年を迎える時期に、幅広い分野において支 援を必要とする人たちが地域で安心して暮ら すことができるような配分を計画しています。

お寄せいただいた募金は、受配要望書に基づき、気仙沼市社協へ配分し活用されます。

平成29年度「歳末たすけあい募金」募金額と配分の実績報告

大変な状況のなか、皆さんからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

4.539.751円 総額

毎戸募金 篤志墓金

4.402.500円(各世帯からのご協力) 137,251円(上記以外の個人からのご協力)

説

※平成29年度の使いみち(気仙沼市からの補助金2,900,000円と繰越金を活用して配分しました)

配分先(使いみち)	配分額
在宅長期寝たきり者等要介護世帯	4,975,000円
長期入院者	4,975,000円
地区社会福祉協議会活動	1,600,000円
障害福祉施設及び事業所等活動	660,000円
新入学児童への安心・安全支援	609,422円
障害·母子等福祉団体、家族会等事業助成	200,000円
子育て支援事業助成	120,000円
生活困窮者支援事業	66,660円
ヘルプカード作成事業(あんしんカード)	567,248円
消耗品等事務費	124,428円
合 計	8 922 758円

個別対象者への配分のほか、子どもから 高齢者まで幅広い分野に対して、地域で の交流を深める事業や、地域の実情や課 題解消につながるような活動に取り組ま れるよう配分されました。





赤い羽根共同募金 気仙沼市共同募金委員会 会長 小野寺良男

(☎ 22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

